

平成30年度 森林づくり県民税活用事業の実施状況

みんなで支える里山整備事業

間伐の実施状況

施行前

木曽町 日義 神谷

施行後



集落のすぐ裏山のヒノキ林です。間伐が進まなかったため、下層の植生が無い状況です。間伐後は日が当たり、植生回復や残存木の太りが見込まれ、防災・減災効果が向上します。

施行前

南木曽町 読書 岩倉

施行後



こちらも間伐により林内に光が当たり、防災・減災効果が向上します。

地域で進める里山集約化事業



事業体による森林所有者への
集約化作業の状況
(イメージ)

河畔林整備の実施状況（県事業）

王滝村 鈴ヶ沢

施行前



施行後



施行前



施行後



河川の氾濫による流木等の防止や野生鳥獣の移動経路の抑止効果が期待されます。

「こどもの居場所木質空間整備事業」の実施状況



林業遺産 御料館への木のおもちゃの設置（木曽町）

「木工体験活動支援事業」の実施状況



南木曽小学校3年生によるイス、テーブルづくり（南木曽町）

子どもたちが地産地消の木に触れ合うことで、県産材に囲まれた地域づくりを推進します。

観光地等魅力向上森林景観整備事業

景観整備の実施状況

施行前



施行後



木祖村 鳥居峠

観光地の眺望景観を良好にすることで、観光地としての魅力を向上させます。

森林づくり推進支援金

景観整備事業の実施状況

施行前



施行後



大桑村 伊奈川地区

町村が抱える課題解消に向けた取組支援で、地域住民の森林づくりへの機運の醸成を図ります。

地域会議の開催状況



会議状況



「梨の木団地」の里山整備地の現地調査(木曽町)

PR広報の実施状況



情報誌「Kisojin」vol.16に森林税PR記事掲載



森林税を活用して、子ども達が「テーブル・ベンチ作り」

南木曽小学校では、「南木曽の木を知ろう」をテーマに3年生の総合学習が毎年行われています。今年もこれまで地元で森林の事を学んだり、木に関わる職人の作業を見学したりして学びを深めてきました。

この日は地元の木を使ってテーブルやベンチを作る準備として、南木曽町の木材関連業者で購得される「ウッディ・クリエイト・ナギソ」の皆さんの指導のもと、木の皮を剥く作業を体験しました。



子ども達はドライバーを手に取り、集中して手際よく剥いていきました。この後、製材された木材を使ってテーブルとベンチの製作を進め、町内や観光地等に設置されます。自分たちで作った木製品が地域で活用されることで、木への愛着がわいてきますよね！

製品イメージ



★次頁に続きます 長野県では、地域の里山整備に結びつける活動の展開も行っています。



お伝えしたい！森林税のこと。

どーも「森林づくり県民税（森林税）」キャラクターの「里やん」と「山ちゃん」です。今回はしっかりものの「山ちゃん」がお伝えします。木材などの林産物を供給するだけではなく、土砂災害や洪水を防ぎ、きれいな水や空気を育んで私たちの暮らしに沢山の恩恵をもたらしてくれる信州の森林。その森林づくりを「森林税」という形で県民の皆さんに支えてもらっています。



「森林税」は、こんなところに活用されています！

間伐材等の利活用による継続的な森林づくりの推進



間伐し搬出している木材



県産材で作った遊具（木曽町御所蔵）

身近な森林資源（間伐材）を搬出し、利用する取り組みが行われています。

間伐材の積極的な利活用により、自立的・持続的な森林管理につなげるため、子どもの居場所の木質化や里山資源の新利用等、多面的な取り組みを推進する必要があります。

里山等の森林づくりの推進（大桑村）



間伐の作業前



間伐の作業後

平成20年度～29年度にかけて、手入れの遅れている里山の間伐を進めてきています。（平成30年度から森林税は第3期に入っています）

所有規模が小さく分散している森林等では、所有者の同意取得や境界確認に時間を要し、目視通りに整備が進まなかったところがあります。今後、町村や地域の皆さんとの協働により、森林整備を効率的に進めていく必要があります。

情報誌「Kisojin」vol.16に森林税PR記事を掲載

県民税活用事業の取組の評価・検証や取組情報を発信し広く地域住民に周知します。